

News Release

JA共済連におけるESG投資の実施について ～東京工業大学が発行するサステナビリティボンドへの投資～

JA共済連（全国共済農業協同組合連合会、代表理事理事長 柳井二三夫）は、事業活動の積極的な取組みを通じて、豊かで安心して暮らすことのできる地域社会づくりに貢献することをJA共済事業の使命の一つに掲げております。

資金運用においても、取り巻く環境変化を踏まえ、安定的な収益の確保を基本とするなかで、国内外問わずSDGs達成に資するESG投資に取り組んでおります。

今回、その一環として、国立大学法人東京工業大学が発行するサステナビリティボンド（愛称:東京工業大学つばめ債）への投資を決定しましたのでお知らせします。

<本債券の概要>

銘柄名	第1回 国立大学法人 東京工業大学債券
発行額	300億円
償還期間	40年

JA共済連は、今後も地域社会を構成する一員として、JA共済の事業活動を通じSDGsが目指す社会の実現に貢献してまいります。

以上

【参考】

＜本債券の特徴＞

本債券で調達された資金は、東京工業大学が掲げるキャンパス・イノベーションエコシステム構想の実現のために、キャンパスの再開発や先端的な教育研究環境の整備等を行うプロジェクトに充当される予定です。

この構想を通じて、多様な人材が組織や個性の違いを超えて共創できる教育研究環境が整備され、幅広い分野で研究が活性化されるとともに高度人材の育成とカーボンニュートラル社会の実現のための社会基盤の創造が先導されることが期待されています。

＜J A 共済連が今年度を実施した主なE S G投資＞

実施時期	E S G債券種類	発行体	発行額	償還期間
9月	ソーシャルボンド	都市再生機構	120億円	40年
10月	グリーンボンド	東海旅客鉄道	80億円	35年
10月	グリーンボンド	東京都	150億円	30年
12月	ソーシャルボンド	新関西国際空港	70億円	30年